

地質ニュース

昭和46年12月 第208号 1971

解説	深井戸を使用した地下水強化と問題点……………村下敏夫…1
トピックス	青ヶ島の鳥の化石……………小林亥一…6 耐光性インキの用紙別試験②……………田中憲一…12
講座	層位学(総論その8)……………福田理…18
海外事情	ブラジルの地質③……………杉尾憲一郎…29 エチオピアという国 ～とくに地下水開発の必要性～ ……河内英幸…44 南極大陸の歴史を探る③～南極の氷河作用～ ……木崎甲子郎…53
	地学と切手……………11
	地質ニュース総目次1971年(No.197～No.208)……………63

編集 地質調査所

表紙の写真

凝灰岩の中から発見された鳥の化石(倍率 1/2)

伊豆諸島の青ヶ島でヘリポートの建設工事をしている際に 現在の地表からおよそ1mの深さに鳥の外形雛型化石が見いだされた。現在保存されているのは頭から首へかけての右側約3分の1で 写真で左へのびているのは下くちばしであるが 上くちばしは残念ながら欠けている。発掘されたときには 頭から胴までの外形雛型と非常にもろくなった骨も見つかった。同じ凝灰岩層の中から写真に示したものよりは小型のものがほかに3・4羽分見つかったそうであるが こわされてしまったらしい。“鳥はだ” 目口の切れ込みなど細かい構造までが残された鳥の化石は大変珍しいものである。国立科学博物館の小原巖さんの鑑定によると アホウドリ (*Diomedea albatrus*) らしい。発見にまつわるエピソードなどについては 本文にのせられている小林亥一さんの“青ヶ島の鳥の化石”を読んでいただきたい。(文 一色直記 写真 正井義郎 所蔵 小林亥一)